

KENWOOD

Bluetooth ユニット

KCA-BT300

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、
説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド

Kenwood Corporation



目次

この取扱説明書の読みかたや、全般的な注意事項が書いてあります。最初に一読してください。

安全上のご注意	4
使用上のご注意	6

操作モデルグループ[A]、[B]、[C]
ここを読めば、ひととおり操作できます。

ハンズフリーの基本操作	8
電話をかける	8
電話を受ける	10
その他の操作	10
通話中の操作	10
割り込み通話	11

オーディオプレーヤーの操作	11
----------------------	-----------

操作モデルグループ[A]、[B]、[C]
本機のいろいろな設定方法が書いてあります。

機能操作	12
Bluetoothデバイスを登録する	12
スペシャルBluetoothデバイスを登録する	12
PINコードを登録する	13
電話帳をダウンロードする	13
接続するBluetoothデバイスを選択する	14
Bluetoothデバイスの登録を削除する	14
ファームウェアのバージョン表示	14
自動着信の時間設定	15
受話音声の出力スピーカー設定	15
着信呼出のビープ音設定	15
Bluetoothデバイスの状態表示	15
電話帳にボイスタグを設定する	16
カテゴリのボイスタグを設定する	17
SMSのダウンロード	18
SMS (ショートメッセージサービス)	18

操作モデルグループ[A]、[B]、[C]
リモコンで本機を操作する方法が書いてあります。

リモコン操作	19
電話をかける	19
電話を受ける	19
通話中の操作	19
割り込み通話	19

操作モデルグループ[D]
操作が異なる機能が書いてあります。

モデルグループ[D]の変更される機能	20
Bluetoothオーディオ	20
履歴から電話をかける (I-K55、I-K77のみ)	20
本機から登録する (ペアリング)	20
Bluetoothの設定 (I-K55、I-K77のみ)	20

トラブルの解決方法などが書いてあります。思いどおりに動かないときに読んでください。

Help? 故障かな?と思ったら	22
共通	22
音声認識	22
オーディオプレーヤー	22
Help? エラー表示	23

取り付け時のご注意	24
接続	26
タイプスイッチの設定	26
KCA-S220Aに接続する場合	26
取り付け	27
マイクユニットの取り付け	27
Bluetoothユニットの取り付け	27

保証とアフターサービス	28
仕様一覧	30

**接続可能なコントロールユニットと
操作モデルグループ**

本機を接続できるコントロールユニットは、下記になります。

接続するコントロールユニットにより操作方法がグループ別けされています。

Ⓐ：DPX-U70、I-K7、I-K7V、U737

Ⓑ：I-K70、I-K70V

Ⓒ：KOS-A300*¹

Ⓓ：HDV-909DT*¹、I-K55、I-K77

コントロールユニットの説明書をご覧ください。KCA-BT200の操作が記載されています。KCA-BT200と同じ操作を行ってください。一部の操作が異なる機能についての説明が20ページに記載されています。

Ⓔ：I-K99

コントロールユニットの説明書をご覧ください。KCA-BT300の操作が記載されています。

(2010年4月現在)

*¹ 別売の接続ケーブルKNA-BT909が必要です。

今後発売になるモデルなどはURLを参照してください。

<http://www.kenwood.com/cs/ce/bt/>

接続するコントロールユニットに合わせて、タイプスイッチを設定する必要があります。「タイプスイッチの設定」(P26)をご覧ください。

「Bluetoothデバイス」とは？

本書に書かれている「Bluetoothデバイス」とは、Bluetooth携帯電話機やBluetoothオーディオプレーヤーのことです。

使用できる携帯電話機やオーディオプレーヤーは「使用上のご注意」(p6)をご覧ください。

Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC の登録商標で、株式会社ケンウッドはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



指示

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。

警告



指示

運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

- カーオーディオの操作（音量調節、SMSなど）



指示

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



禁止

心臓ペースメーカーを装着されている場合は、本機を使用しない。
電波によりペースメーカーの動作に影響を与える原因となります。



禁止

病院などの医療機関内、医療用機器の近くや、飛行機の中では本機を使用しない。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となります。

**指示**

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、またはケンウッドサービスセンターへご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする

**指示**

本機を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合、本機の使用を中止する。

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となります。

**指示**

修理は必ず購入店、またはケンウッドサービスセンターにご依頼ください。

お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。

**禁止**

本製品の分解や改造はしないでください。
火災その他の事故の原因となります。

注意**禁止**

本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。

**禁止**

本製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。

**禁止**

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。

**指示**

本製品の取り付け・配線は技術と経験が必要です。

安全のため<お買い上げの販売店>にご依頼ください。

使用上のご注意

異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「Help? 故障かな? と思ったら」(p22)を参照して解決方法をお調べください。

対応の携帯電話機について

本機のBluetoothの仕様

対応バージョン	Bluetooth標準規格 Ver.2.1+EDR準拠
対応プロファイル	HFP (Hands Free Profile) OPP (Object Push Profile) PBAP (Phonebook Access Profile) SYNC (Synchronization Profile)

動作を確認した携帯電話機についてはURLをご覧ください。

<http://www.kenwood.com/cs/ce/bt/>



- Bluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることの認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては通信できない場合があります。
- HFPはハンズフリー通話をかけるためのプロファイルです。
- OPPは機器間で電話帳などのデータを転送するためのプロファイルです。

対応のBluetoothオーディオプレーヤーについて

本機のBluetoothの仕様

対応バージョン	Bluetooth標準規格 Ver.2.1+EDR準拠
対応プロファイル	A2DP*1 (Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)

*1 コンテンツ保護方式のSCMS-T対応



- A2DPはオーディオプレーヤーの音楽を伝送するためのプロファイルです。
- AVRCPはオーディオプレーヤーの再生や選曲などをコントロールするためのプロファイルです。
- SCMS-TとはA2DP (オーディオプレーヤー) などでセキュリティがかかったコンテンツを聴くことが出来る機能です。

電波について

- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けた部品を使用しています。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。また、本機は、電気通信事業法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。

- － 分解/改造すること
- － 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

2.4 FH 1

2.4：2.4GHz帯を使用する無線機器です。

FH：FH-SS変調方式を表します。
1：電波干渉距離は10mです。

本機の使用周波数帯（2.4GHz）では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
- その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。
- 使用可能距離は見通し距離約10 mです。
鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。

- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
 - － 2.4GHzの周波数帯域を利用する無線LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
 - － ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CSチューナー、VICSなどのアンテナ入力端子を持つAV機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。
- 本機は電波を使用しているため、第三者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

使用を始める前に

- ハンズフリー機能を利用するには、あらかじめ本機に携帯電話機を登録する必要があります。詳しくは「Bluetoothデバイスを登録する」(p12)をご覧ください。
- 複数の携帯電話機を登録している場合は、使用する携帯電話機を選択する必要があります。詳しくは「接続するBluetoothデバイスを選択する」(p14)をご覧ください。
- CDレシーバーから電話帳を利用するには、あらかじめ本機に電話帳をダウンロードする必要があります。詳しくは「電話帳をダウンロードする」(p13)をご覧ください。



- 電話をかけたときに相手が約1分間出ない場合は自動的に切れます。
 - 本機は自動リダイヤル機能はありません。
 - 携帯電話機によっては動作が異なる場合があります。
- 通話中にソースを切り替えると通話が切れます。
- ファンクションコントロールの操作方法については、コントロールユニットの取扱説明書をご覧ください。
- 携帯電話機が接続されているときは、「BT」インジケータが点灯します。

電話をかける

発信モードを選択する

- Ⓐ [ATT] ボタンを1秒以上押しして発信モードにします。
 Ⓑ [TI] ボタンを1秒以上押しして発信モードにします。
 Ⓒ [📞] ボタンを押しして発信モードにします。
- コントロールノブを押しして発信方法を選択します。押すたびに次の順に変わります。

表示	発信方法
"DIAL"	電話番号を入力して電話をかけます。
"INITIAL"	電話帳をフリガナで検索して電話をかけます。
"P-BOOK"/ "PHONE BOOK"	電話帳を名前順に探して電話をかけます。
"OUT-CALL"	発信履歴から電話をかけます。
"IN-CALL"	着信履歴から電話をかけます。
"MIS-CALL"/ "MISSED CALLS"	不在着信履歴から電話をかけます。

- 発信の操作方法は各操作項目をご覧ください。

- Ⓐ [ATT] ボタンを押しして発信モードを終了します。
 Ⓑ [TI] ボタンを1秒以上押しして発信モードを終了します。
 Ⓒ [📞] ボタンを押しして発信モードを終了します。

電話番号を入力して電話をかける

(ⒶⒷ) モデルはリモコンを使用する機能です)

- [📞] ボタンを押しして発信モードにします。
- ⒶⒷ リモコンの▶▶▶ ボタンを押ししてナンバーダイヤルモードを選びます。
 - Ⓒ コントロールノブを押ししてナンバーダイヤルモードを選びます。
- "DIAL" 表示を選択します。
- 電話番号を入力します。

ⒶⒷ 表示	操作
"0"から"9"	[0]から[9]ボタンを押す。
"#"	[FM]ボタンを押す。
"**"	[AM]ボタンを押す。
"+"	[▶▶]ボタンを押す。

Ⓒ 動作	操作
数字を選ぶ	コントロールノブを上下に押す。
数字を決定する	コントロールノブを右に押す。
数字を削除する	コントロールノブを左に押す。

- ⒶⒷ リモコンの[DIRECT] ボタンを押しして発信します。
 - Ⓒ コントロールノブを1秒以上押しして発信します。
- "CALL"と表示されます。



- ⒶⒷ [◀◀] ボタンを押すと、入力した電話番号を消すことができます。
- 入力できる電話番号は32桁までです。

プリセットダイヤルで電話をかける

- Ⓐ [ATT] ボタンを1秒以上押しして発信モードにします。
 Ⓑ [TI] ボタンを1秒以上押しして発信モードにします。
 Ⓒ [📞] ボタンを押しして発信モードにします。
- コントロールノブを押ししてナンバーダイヤルモードを選びます。
 "DIAL" 表示を選択します。
- プリセット番号を選択します。
プリセットボタンのあるモデル
 [1]から[6]ボタンを押します。
プリセットボタンのないモデル
 3-1. [FNC]/[Q] ボタンを押します。
 3-2. コントロールノブを回す、または左右に動かして番号を選択します。
 3-3. コントロールノブを押しして決定します。
 3-4. [FNC]/[Q] ボタンを押します。
- コントロールノブを1秒以上押しして発信します。
 "CALL"と表示されます。



- プリセットダイヤルを使用する前に電話番号を登録する必要があります。詳しくは「プリセットダイヤルに登録する」(p10)をご覧ください。

電話帳を利用して電話をかける

1. [A] [ATT] ボタンを1秒以上押しして発信モードにします。
 [B] [TI] ボタンを1秒以上押しして発信モードにします。
 [C] [📞] ボタンを押しして発信モードにします。
2. コントロールノブを押して電話帳の検索モードを選びます。
 “INITIAL” (フリガナ検索) 表示を選択した場合は手順3に進みます。
 “P-BOOK”/“PHONE BOOK” (名前順) 表示を選択した場合は手順4に進みます。
3. フリガナを選択します。

動作	操作方法
フリガナの頭文字を選ぶ	コントロールノブを回す、または左右に動かします。
表示行を変える	コントロールノブを上下に動かします。
フリガナを決定する	コントロールノブを押します。

4. 名前を選択します。

動作	操作方法
電話番号を変え	コントロールノブを回す、または上下に動かします。
名前を変え	コントロールノブを左右に動かします。

5. コントロールノブを1秒以上押しして発信します。
 “CALL”と表示されます。



- 電話帳を利用するには、あらかじめ携帯電話機から電話帳をダウンロードする必要があります。詳しくは「電話帳をダウンロードする」(p13)をご覧ください。
- フリガナ検索は、携帯電話機の電話帳に登録されているフリガナを利用しています。フリガナが登録されていないと検索できません。

電話帳のカテゴリ表示について

電話帳の検索など電話番号のカテゴリを次のように表示します。

表示	情報
📞	一般
🏠	自宅
🏢	会社
📱	携帯電話
📞	その他

履歴から電話をかける

1. [A] [ATT] ボタンを1秒以上押しして発信モードにします。
 [B] [TI] ボタンを1秒以上押しして発信モードにします。
 [C] [📞] ボタンを押しして発信モードにします。
2. コントロールノブを押して使用する履歴を選択します。
 “OUT-CALL” (発信履歴)、 “IN-CALL” (着信履歴)、または “MIS-CALL”/“MISSED CALLS” (不在着信履歴) 表示を選択します。
3. 履歴から電話番号を選択します。
 コントロールノブを回す、または上下に動かして電話番号を選択します。
4. コントロールノブを1秒以上押しして発信します。
 “CALL”と表示されます。



- 履歴で表示される内容は、本機で発信および着信した履歴です。電話機内の履歴ではありません。

音声で電話帳を呼び出す

1. ファンクションコントロールから音声認識を選択します。
 [FNC]/[Q] ボタンを押し ▶ “BT” ▶ “V-REC” / “Voice Recognize” と選択します。
2. コントロールノブを押して音声認識を開始します。
 “PB Name?” 表示のあと、ビーブ音が鳴ったら2秒以内に名前を発声します。
3. “PN Type?” 表示のあと、ビーブ音が鳴ったら2秒以内にカテゴリ (種類) を発声します。
4. 認識結果を選んで発信します。
 表示された電話番号に発信する場合は、コントロールノブを1秒以上押します。
 電話番号を変える場合は、「電話帳を利用して電話をかける」(p9) の手順4~5の操作を行います。



- 音声で認識されないときは、メッセージが表示されます。メッセージの表示後にコントロールノブを押すと再度音声入力ができます。(p21)
- 音声認識を行うには、あらかじめ名前とカテゴリにボイスタグを登録する必要があります。詳しくは「電話帳にボイスタグを設定する」(p16)と「カテゴリのボイスタグを設定する」(p17)をご覧ください。
- 電話帳にカテゴリが登録されていない、またはカテゴリのボイスタグが登録されていないときは、手順3の操作が省略されます。
- 音声認識を行っている間は、オーディオの音声は出力されません。

電話を受ける

かかってきた電話に出る

[A] [B] [AUD] ボタンを押す、または [1] から [6] ボタンを押します。

[C] [📞] ボタンを押します。



- CD を挿入する、USB を接続するなどソースを切り替えると通話が切れます。

着信を拒否する

[A] [ATT] ボタンを1秒以上押します。

[B] [TI] ボタンを1秒以上押します。

[C] [SRC] ボタンを押します。



- [SRC] ボタンを押しても着信を拒否することができます。

その他の操作

プリセットダイヤルに登録する

- 登録する電話番号を入力します。
下記を参照して電話番号を表示します。
「電話番号を入力して電話をかける」(p8)
「履歴から電話をかける」(p9)
「電話帳を利用して電話をかける」(p9)
- 登録するプリセット番号を選択します。
プリセットボタンのあるモデル
[1] から [6] ボタンを2秒以上押します。
プリセットボタンのないモデル
2-1. [FNC]/[Q] ボタンを押します。
2-2. コントロールノブを回す、または左右に動かして番号を選択します。
2-3. コントロールノブを1秒以上押します。
- [A] [ATT] ボタンを1秒以上押して発信モードを終了します。
[B] [TI] ボタンを1秒以上押して発信モードを終了します。
[C] [📞] ボタンを押します。

未接続表示の解除

[A] [ATT] ボタンを1秒以上押します。

[B] [TI] ボタンを1秒以上押します。

[C] [📞] ボタンを押します。

“HF Disconnect” 表示が消えます。

通話中の操作

通話を終了する

[SRC] ボタンを押します。



- [ATT] ボタンを1秒以上押しても通話を終了することができます。

受話音量を調節する

オーディオノブ (ボリュームノブ) を回します。



- 通話中に受話音量を調節すると、次の通話も調節した音量になります。
- 受話音量を大きくするとエコーが発生しやすくなります。エコーが発生したときは受話音量をできるだけ小さくしてください。エコーは受話音量に比例して大きくなります。

プライベート通話に切り替える

コントロールノブを押します。

通話中に押すたびにプライベート通話 (“PRVT”/“PRIVATE”: 電話機での通話) とハンズフリー通話が切り替わります。



- 携帯電話機によってはプライベート通話に切り替えるとハンズフリー接続の前に聞いていたソースに戻ることがあります。その場合は、本機ではハンズフリー通話に戻ることができません。携帯電話機側を操作してハンズフリー通話に切り替えてください。

割り込み通話

今の通話を保留にして、かかってきた電話に出る

(□モデルは使用できません)

1. オーディオノブ (ボリュームノブ) を押します。
2. コントロールノブを上下に動かして、“Answer”表示を選択します。
3. オーディオノブ (ボリュームノブ) を押します。

今の通話を終了して、かかってきた電話に出る

[SRC]ボタンを押します。

今の通話を続ける

(□モデルは使用できません)

1. オーディオノブ (ボリュームノブ) を押します。
2. コントロールノブを上下に動かして、“Reject”表示を選択します。
3. オーディオノブ (ボリュームノブ) を押します。



- U737を使用している場合は、[1]から[6]ボタンを押しても割り込み着信を拒否することができます。

今の通話を終わらせて、保留中の電話に出る

- A [ATT]ボタンを1秒以上押します。
- B [TI]ボタンを1秒以上押します。
- C [()]ボタンを押します。

保留中の通話に切り替える

オーディオノブ (ボリュームノブ) を押します。
押すたびに通話相手が切り替わります。

使用を始める前に

- オーディオプレーヤーを使用するには、あらかじめ本機に登録しておく必要があります。詳しくは「Bluetoothデバイスに登録する」(p12)をご覧ください。
- 複数のオーディオプレーヤーに登録している場合は、使用するオーディオプレーヤーを選択する必要があります。詳しくは「接続するBluetoothデバイスを選択する」(p14)をご覧ください。



- リモートコントロール (AVRCP) に対応していないBluetoothオーディオプレーヤーは操作できません。オーディオプレーヤーで操作してください。
- Bluetoothオーディオプレーヤーで再生している曲情報は、本機に表示することができません。
- 電源を切るなどBluetooth接続が切れたあと、リモートコントロールできない、または再接続できないオーディオプレーヤーがあります。オーディオプレーヤー側でBluetooth接続の操作を行ってください。

ソースを切り替える

[SRC]ボタンを押します。
“BT Audio EXT”を選択します。



- Bluetoothオーディオソースに切り替えても、オーディオプレーヤーは自動的に再生または停止しません。オーディオプレーヤーで再生または停止の操作を行ってください。

再生と一時停止

コントロールノブを押します。
押すたびに再生と一時停止を繰り返します。

再生する曲を選ぶ

コントロールノブを右に動かすと、次の曲に変わります。
コントロールノブを左に動かすと、曲の先頭/前の曲に変わります。

Bluetoothデバイスを登録する

Bluetoothデバイス(携帯電話およびオーディオプレーヤー)が利用できるように、機器登録(ペアリング)をします。本機には5台まで登録できます。

Bluetoothデバイスから登録する場合

1 コントロールユニットの電源を入れます

2 Bluetoothデバイス側で機器の登録操作を開始します

Bluetoothデバイス进行操作して、ハンズフリー機器およびオーディオプレーヤーの登録(ペアリング)を行います。
検索した接続機器の中から“KCA-BT300”を選択します。

3 PINコードを入力します

「PINコードを登録する」(p13)で登録したPINコードを入力します。
● 初期設定は“0000”です。

4 Bluetoothデバイス进行操作して、ハンズフリー接続およびオーディオプレーヤー接続を開始します

コントロールユニットから登録する場合

1 ファンクションコントロールで“Device Regist”を選択します

スタンバイにする▶[FNC]/[Q]ボタンを押し▶“MENU”▶“Device Regist”と選択します。

2 コントロールノブを1秒以上押します

Bluetoothデバイスの検索を開始します。
検索が完了すると“Finished”と表示します。
● 検索中にコントロールノブを押すと、検索を中止することができます。

3 Bluetoothデバイスを選択します

コントロールノブを回す、または上下に動かしてBluetoothデバイスを選択します。
コントロールノブを押して決定します。

4 “PAIRING”と表示しペアリングが開始されます

“Pairing Success”と表示された場合は、手順7に進みます。
“PIN Code NG”と表示された場合は、コントロールノブを押します。手順5のPINコードの入力に進みます。

5 PINコードを入力します

動作	操作方法
数字を選択する	コントロールノブを回す、または上下に押す。
次の桁に移動する	コントロールノブを右側に押す。
最後の桁を削除する	コントロールノブを左側に押す。

6 PINコードを送信します

コントロールノブを1秒以上押します。
“Pairing Success”が表示されたら登録完了です。

7 コントロールノブを押してデバイス一覧に戻ります

8 [FNC]/[Q]ボタンを押してデバイス登録を終了します



- 本機で入力できるPINコードは8桁までの数字です。本機で入力できないPINコードの場合は、Bluetoothデバイス側から登録してください。
- 登録済みのBluetoothデバイスが5台ある場合は、新たに登録することができません。「Bluetoothデバイスの登録を削除する」(P14)を参照して不要な登録を削除してください。
- PINコードが正しいのにエラー表示が出て登録できない場合は、「スペシャルBluetoothデバイスを登録する」(p12)の登録を試してください。

スペシャルBluetoothデバイスを登録する

通常の登録(ペアリング)ができないスペシャルデバイスを登録します。

1 ファンクションコントロールで“SPCL DVC Select”を選択します

スタンバイにする▶[FNC]/[Q]ボタンを押し▶“MENU”▶“SPCL DVC Select”と選択します。

2 コントロールノブを1秒以上押します

3 デバイス名を選択します

コントロールノブを回す、または上下に動かしてデバイス名を選択します。
コントロールノブを押して決定します。
“Completed”が表示されたら完了です。

4 [FNC]/[Q]ボタンを押します

- 5 「Bluetoothデバイスを登録する」(p12)の操作を行い登録します



- デバイス名が一覧に表示されない場合は“Other Phone”を選択して登録を試してください。

PINコードを登録する

Bluetoothデバイス側から本機を登録する際に必要なPINコードを設定します。

- 1 ファンクションコントロールで“PIN Code Edit”を選択します

スタンバイにする ▶ [FNC]/[Q]ボタンを押し ▶ “MENU” ▶ “PIN Code Edit” と選択します。

- 2 コントロールノブを1秒以上押します

- 3 PINコードを入力します

動作	操作方法
数字を選択する	コントロールノブを回す、または上下に押す。
次の桁に移動する	コントロールノブを右側に押す。
最後の桁を削除する	コントロールノブを左側に押す。

- 4 コントロールノブを1秒以上押して、PINコードを登録します

“Completed” が表示されたら登録完了です。

- 5 [FNC]/[Q]ボタンを押してPINコード登録を完了します



- 初期設定は“0000”に設定されています。
- 設定できるPINコードは8桁までの数字です。

電話帳をダウンロードする

携帯電話機に登録されている電話帳のデータを、本機にダウンロードして本機の電話帳として利用できるようにします。

自動でダウンロードする場合

携帯電話機が電話帳のシンクロ機能に対応している場合、Bluetooth接続すると自動でダウンロードします。



- 携帯電話機側の設定が必要な場合があります。
- “Completed” と表示されても電話帳にデータがない場合、お使いの携帯電話機は自動ダウンロードに対応していません。手動でダウンロードしてください。

携帯電話機から手動でダウンロードする場合

- 1 携帯電話機を操作して、ハンズフリー接続を終了してください

- 2 携帯電話機側で電話帳を送信します

携帯電話機側で電話帳を本機に送信してください。

- ダウンロード中は“Downloading” と表示されます。
- “Completed” が表示されたらダウンロード完了です。

- 3 携帯電話機を操作して、ハンズフリー接続を開始してください

ダウンロード完了表示を消すには

何か操作を行うと表示が消えます。



- 操作方法は携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 本機は機器登録した携帯電話機ごとに1000件まで電話番号を登録できます。
- 1件に登録できるのは、電話番号が32桁、名前が50文字までです。(文字数は1バイトの場合です。文字種により少なくなります。)
- 電話帳のダウンロードを途中で中止するには、携帯電話機側で中止してください。

接続するBluetoothデバイスを選択する

登録してある複数のBluetoothデバイスから、使用するデバイスを選択します。

- 1 ファンクションコントロールでBluetoothデバイスの選択モードにします

携帯電話機の場合

スタンバイにする ▶ [FNC]/[Q]ボタンを押し ▶ “MENU” ▶ “Phone Selection” と選択します。

オーディオプレーヤーの場合

[FNC]/[Q]ボタンを押し ▶ “MENU” ▶ “Audio Selection” と選択します。

- 2 コントロールノブを1秒以上押します

デバイス名が表示されます。

- 3 コントロールノブを回す、または上下に動かして、使用するBluetoothデバイスを選択します

- 4 コントロールノブを左右に動かして、デバイスの接続設定を選びます

デバイス名の前に下記の文字で状態を表示します。

表示	内容
“*”	接続中
“-/*”(グレー)	接続待機中
“ ”	接続解除

既に携帯電話機が選択されている場合は、既存の選択を解除してから新しい携帯電話機を選択してください。

- 5 [FNC]/[Q]ボタンを押して終了します

Bluetoothデバイスの登録を削除する

登録してあるBluetoothデバイスを削除します。

- 1 ファンクションコントロールで“Device Delete”を選択します
スタンバイにする ▶ [FNC]/[Q]ボタンを押し ▶ “MENU” ▶ “Device Delete” と選択します。
- 2 コントロールノブを1秒以上押します
デバイス名が表示されます。
- 3 コントロールノブを回す、または上下に動かして、削除するBluetoothデバイスを選択します
- 4 コントロールノブを押します
- 5 コントロールノブを回す、または左右に動かして“YES”を選択します
- 6 コントロールノブを押します
“Delete”表示され、削除が完了します。
- 7 [FNC]/[Q]ボタンを押して終了します



- 携帯電話機の登録を削除すると、電話帳、履歴、SMS、およびボイススタグのデータも削除されます。

ファームウェアのバージョン表示

本機のファームウェアのバージョンを表示します。

- 1 ファンクションコントロールで“BT F/W Update”を選択します
スタンバイにする ▶ [FNC]ボタンを押し ▶ “MENU” ▶ “BT F/W Update” と選択します。
- 2 コントロールノブを1秒以上押します
ファームウェアのバージョンが表示されます。
- 3 [FNC]/[Q]ボタンを押してバージョン表示を終了します



- ファームウェアのアップデート方法はホームページをご覧ください。
<http://www.kenwood.com/cs/ce/bt/>

自動着信の時間設定

着信コールの経過時間で自動的に電話を受ける(応答)機能です。

- 1 ファンクションコントロールで“Auto Answer”を選択します
スタンバイにする▶[FNC]/[Q]ボタンを押し▶“MENU”▶“Auto Answer”と選択します。

- 2 コントロールノブを左右に動かします

表示	設定
“OFF”	自動着信しません。
“0s”	すぐに自動着信します。
“1s” ~ “99s”	1秒から99秒で自動着信します。 (初期設定は8秒です)

- 3 [FNC]/[Q]ボタンを押して終了します



- 携帯電話機の自動着信設定を本機より早い時間に設定していると、携帯電話機の設定が優先されます。
- 割り込み通話中には動作しません。

受話音声の出力スピーカー設定

受話音声を出力するスピーカーを設定します。

- 1 ファンクションコントロールで“SP Select”を選択します
スタンバイにする▶[FNC]/[Q]ボタンを押し▶“MENU”▶“SP Select”と選択します。

- 2 コントロールノブを左右に動かします

表示	設定
“Front”	フロントの左右のスピーカーから出力します。(初期設定)
“F-R”	フロントの右スピーカーから出力します。
“F-L”	フロントの左スピーカーから出力します。

- 3 [FNC]/[Q]ボタンを押して終了します



- ハウリングやエコーを軽減するため、マイクから離れたスピーカーに設定してください。

着信呼出のビーブ音設定

この機能をオンにするとスピーカーからビーブ音を鳴らして着信を知らせます。

- 1 ファンクションコントロールで“Call Beep”を選択します
スタンバイにする▶[FNC]/[Q]ボタンを押し▶“MENU”▶“Call Beep”と選択します。

- 2 コントロールノブを左右に動かします

表示	設定
“ON”	ビーブ音を鳴らします。(初期設定)
“OFF”	ビーブ音を鳴らしません。

- 3 [FNC]/[Q]ボタンを押して終了します



- 着信の呼び出し音が携帯電話機から送られてこない場合にオンします。

Bluetoothデバイスの状態表示

Bluetoothデバイスの接続状態や携帯電話機の電波状態、電池の残量を表示します。

- 1 ファンクションコントロールで“BT DVC Status”を選択します
[FNC]/[Q]ボタンを押し▶“MENU”▶“BT DVC Status”と選択します。

- 2 コントロールノブを1秒以上押します
デバイスの状態をアイコンで表示します。

表示	設定
	携帯電話の接続状態
	携帯電話の電波状態
	携帯電話の電池残量
	オーディオプレーヤーの接続状態

- 3 [FNC]/[Q]ボタンを押して終了します



- 状態表示は携帯電話機の表示と一致しない場合があります。

電話帳にボイスタグを設定する

電話帳を音声で呼び出す(P9)ためのボイスタグを登録します。ボイスタグは最大35件まで登録できます。

1 ファンクションコントロールでボイスタグの設定を選択します

[FNC]/[Q]ボタンを押し ▶ “BT” ▶ “VOICE” / “Voice Tag” ▶ “NAME” / “PB Name Edit” と選択します。

2 ボイスタグを登録する名前を検索します

動作	操作方法
電話番号を変え る	コントロールノブを回す、または上下に動かします。
名前を変える	コントロールノブを左右に動かします。

既にボイスタグが登録されている場合は、名前の前に “*” が表示されます。

3 コントロールノブを押します

4 コントロールノブを左右に動かして、モードを選択します

表示	動作
“N-REG”	ボイスタグを登録します。
“N-CHK” *	ボイスタグを再生します。
“N-DEL” *	ボイスタグを削除します。
“  ”	手順2に戻ります。

* ボイスタグを登録してある名前のみ選択できません。

登録 (“REG”) を選択した場合

5 コントロールノブを押します

“Enter Voice 1”/“Entry Voice 1”と表示されてボイスタグの登録が開始されます。(1回目) ビープ音が鳴ったら2秒以内に名前のボイスタグを発声します。

6 コントロールノブを押します

“Enter Voice 2”/“Entry Voice 2”と表示されてボイスタグの確認が開始されます。(2回目) ビープ音が鳴ったら2秒以内に、手順5と同じボイスタグを発声します。
1回目と同じボイスタグと認識されると、“Complete” 表示されます。

7 コントロールノブを1秒以上押して登録を終了します

手順2に戻ります。続けて他のボイスタグを登録

できます。



- 音声で認識されなかったときは、メッセージが表示されます。(p23)
メッセージの表示後にコントロールノブを押すと、再度音声の登録ができます。

再生 (“CHK”) を選択した場合

5 コントロールノブを押します

登録されている音声を再生して、手順2に戻ります。

削除 (“DEL”) を選択した場合

5 コントロールノブを押します

6 コントロールノブを回す、または左右に動かして “YES” を選択します

7 コントロールノブを押します

ボイスタグを削除して、手順2に戻ります。

ボイスタグの設定を中止するには…

[FNC]/[Q]ボタンを押します



- ボイスタグの設定中は、オーディオの音声は出力されません。

カテゴリのボイスタグを設定する

電話番号のカテゴリ(種類)に音声で呼び出すためのボイスタグを付けます。

1 ファンクションコントロールでボイスタグの設定を選択します

スタンバイにする▶[FNC]/[Q]ボタンを押し▶
"BT"▶"VOICE"/"Voice Tag"▶"TYPE"/
"P-TYPE"/"PN Type Edit"と選択します。

2 コントロールノブを左右に動かして、登録するカテゴリを選択します

既にボイスタグが登録されている場合は、カテゴリ名の前に"*"が表示されます。

表示	内容
"General"	一般
"Home"	自宅
"Office"	会社
"Mobile"	携帯電話
"Other"	その他

3 コントロールノブを押します

4 コントロールノブを左右に動かして、モードを選択します

表示	動作
"T-REG"	ボイスタグを登録します。
"T-CHK" *	ボイスタグを再生します。
"T-DEL" *	ボイスタグを削除します。
	手順2に戻ります。

* ボイスタグを登録してあるカテゴリのみ選択できます。

5 「電話帳にボイスタグを設定する」(p16)の手順5から7の操作を行い、すべてのボイスタグを登録します

ボイスタグの設定を中止するには…

[FNC]/[Q]ボタンを押します



- カテゴリのボイスタグは5種類すべて登録してください。登録されていないと音声で電話帳を呼び出すことができない場合があります。

SMSのダウンロード

携帯電話機に届いたショートメッセージ(SMS)をダウンロードして、コントロールユニットで読めるようにします。

1 ファンクションコントロールで“SMSDL”を選択します

[FNC]/[Q]ボタンを押し ▶ “BT” ▶ “SMS”
▶ “SMSDL” / “SMS Download” と選択します。

2 コントロールノブを押して、ダウンロードを開始します

“SMS Downloading” と表示されてダウンロードを開始します。
ダウンロードが完了すると“Completed” と表示されます。

3 [FNC]/[Q]ボタンを押して終了します



- 携帯電話機がBluetoothでSMSを転送する機能をもっている必要があります。また、携帯電話機側の設定が必要な場合があります。
- 携帯電話機からSMSをダウンロードすると、携帯電話機内の未開封メッセージは開封済みとなります。
- 未読メッセージと既読メッセージは、それぞれ75件までダウンロードできます。

SMS (ショートメッセージサービス)

携帯電話機に届いたSMSをコントロールユニットで表示します。

新着メッセージが届いたときはメッセージが表示されます。



注意

- 運転者は、走行中にショートメッセージを読まないでください。
事故の原因となります。

新着メッセージが届くと

“SMS Received” と表示されます。
何か操作を行うと表示が消えます。

SMS を表示する

1 ファンクションコントロールで“INBOX”を選択します

[FNC]/[Q]ボタンを押し ▶ “BT” ▶ “SMS”
▶ “INBOX” / “SMS Inbox” と選択します。

2 コントロールノブを押します

メッセージリストが表示されます。

3 コントロールノブを回す、または上下に動かして、メッセージを選択します

4 コントロールノブを押すと、メッセージの本文を表示します

もう一度押すと、メッセージの選択に戻ります。
“◀” および “▶” が表示されているときに、コントロールノブを左右に動かすと次のページに切り替わります。

5 [FNC]/[Q]ボタンを押して終了します



- 未開封メッセージがリストの先頭に表示されます。その他は受信日順になります。
- 携帯電話機と接続していないときに届いたショートメッセージは表示できません。始めに、SMSのダウンロードを行ってください。
- SMSのダウンロード中は、ショートメッセージを表示できません。

リモコン操作

電話をかける

発信モードにする

[[]] ボタンを押します。

発信モードを選択する

[▶||] ボタンを押します。

押すたびに発信モードが切り替わります。

電話番号の入力

発信モードで“DIAL”を選択しているときに下記のボタンで電話番号を入力します。

表示	ボタン操作
“0” から “9”	[0]から[9]ボタン
“#”	[FM]ボタン
“*”	[AM]ボタン
“+”	[▶▶]ボタン
電話番号を削除する	[◀◀]ボタン

- 入力できる電話番号は32桁までです。

発信する

[DIRECT] ボタンを押します。

電話を受ける

かかってきた電話に出る

[[]] ボタンを押します。

通話中の操作

通話を終了する

[SRC] ボタンを押します。

受話音量を調節する

[VOL] ボタンを押します。

プライベート通話に切り替える

[▶||] ボタンを押します。

押すたびにプライベート通話とハンズフリー通話が切り替わります。

割り込み通話

今の通話を保留にして、かかってきた電話に出る

[[]] ボタンを押します。

今の通話を終わらせて、かかってきた電話に出る

[SRC] ボタンを押します。

今の通話を続ける

[1] ボタンを押します。

モデルグループ **D** の変更される機能

Bluetoothオーディオ

曲の情報表示 (I-K55、I-K77のみ)

BluetoothオーディオプレーヤーがプロファイルAVRCPバージョン1.3に対応している場合、再生中の曲情報を表示できます。

項目の表示を切り替える操作は、コントロールユニットの説明書をご覧ください。

表示	内容
"Title/Artist"	曲名とアーティスト名
"Album/Artist"	アルバムタイトルとアーティスト名

表示	内容
"Song Title"	曲名
"Artist name"	アーティスト名
"Album Name"	アルバムタイトル

コンテンツ保護された曲の再生

本機は、コンテンツ保護方式SCMS-Tに対応していますので、著作権保護された曲も再生できます。

履歴から電話をかける (I-K55、I-K77のみ)

タイムスタンプを表示する

表示項目の切り替えで、名前、電話番号およびタイムスタンプが選択できます。

項目の表示を切り替える操作は、コントロールユニットの説明書をご覧ください。

本機から登録する (ペアリング)

PINコードの自動送信

デバイス一覧から接続するBluetooth機器を選択すると、“Pairing”と表示され自動的にペアリングを開始します。

- “Pairing Success”と表示されると登録が完了します。PINコードを入力する必要はありません。PINコードの送信後の操作を行ってください。
- “PIN Code NG”と表示される場合は、PINコードの入力が必要です。PINコードを入力する操作を行ってください。

Bluetoothの設定 (I-K55、I-K77のみ)

Bluetoothの設定に下記の項目が追加されます。

マイクゲインの調整

“Detailed Settings” ▶ “MIC Gain”

マイクの音量を調整します。

“-3” ~ “0” ~ “+3”

ノイズリダクションの調整

“Detailed Settings” ▶ “NR Level”

マイクの音量を変えずに周辺の雑音を軽減します。

“-3” ~ “0” ~ “+3”

エコーキャンセルの調整

“Detailed Settings” ▶ “Echo Cancel” /

“Echo Cancel LV”

エコー (反響音) を軽減します。

“-2” ~ “0” ~ “+2”

共通

? ハンズフリー通話の受話音声が小さい

- ✓ ハンズフリー通話用の音量が小さくなっている。
- ハンズフリー通話用のボリュームは独立しています。ハンズフリー通話中に音量を調節してください。

? リアスピーカーから音が出ない

- ✓ ハンズフリー通話を行っている。
- ハンズフリー通話中はリアスピーカーから音が出ません。

? 着信時に呼び出し音が鳴らない

- ✓ 携帯電話機によっては着信音が鳴らない場合があります。
- 「着信呼出のピープ音設定」(p15) をオンに設定すると着信をピープ音でお知らせします。

音声認識

? 音声を認識しない

- ✓ 車両の窓を開けている。
- 周囲の雑音が大きいと認識しづらくなります。車両の窓を閉めて雑音を少なくしてください。
- ✓ 音声が小さい。
- 音声が小さいと認識しづらくなります。マイクに向かって、少し大きめに自然な発声で話してください。
- ✓ 登録した人以外の方がボイスタグを発声している。
- ボイスタグを登録した本人だけの音声を認識できます。

オーディオプレーヤー

? Bluetoothオーディオプレーヤーが登録（ペアリング）できない

- ✓ PINコードが固定されている。
- Bluetoothオーディオプレーヤーの説明書にPINコードが記載されている場合は、「PINコードを登録する」(p13) で設定してから登録してください。または、PINコードの指定がない場合は“0000”を試してください。

? Bluetoothオーディオプレーヤーの音声が途切れる

- ✓ 本機とオーディオプレーヤーの距離が離れている。
- オーディオプレーヤーを本機に近づけてください。
- ✓ 他のBluetoothデバイスが通信を妨げている。
- 他のBluetoothデバイスの電源を切ってください。
- 他のBluetoothデバイスを遠ざけてください。
- ✓ 他のBluetoothデバイス、または他のプロファイルで通信を行っている。
- 電話帳やSMSのダウンロードを行うと音声が途切れることがあります。

無効な操作を以下のように表示してお知らせします。

Connect NG :

Bluetoothデバイスに接続できません。

Device Full :

すでに5台登録されておりこれ以上登録できません。

No Data :

- 発信履歴がありません。
- 着信履歴がありません。
- 不在着信履歴がありません。

No Entry :

携帯電話機を機器登録（ペアリング）していません。

No Number :

- 電話番号の通知がない着信時に表示します。
- 電話番号のデータがない時に表示します。

No Message :

SMSのデータがありません。

No Phonebook :

電話帳にデータがありません。

No Voice Data :

電話帳にボイスタグが登録されていません。

Pairing Failed :

ペアリングエラーです。

PIN Code NG :

PINコードが違います。

音声認識と、ボイスタグの登録で認識できない原因を以下のように表示してお知らせします。

Err No Matching :

ボイスタグが異なる、登録されていないなど認識できません。

Too Long :

発話が長すぎて認識できません。

Too Loud :

声が大きすぎて認識できません。

Too Soft :

声小さすぎて認識できません。

Memory Full :

電話帳に登録できるボイスタグの件数を超えました。登録できる件数は35件までです。

システムの状態を以下のように表示してお知らせします。

Audio Disconnect :

オーディオプレーヤーと通信できない状態のとき。

HF Disconnect :

携帯電話機と通信できない状態のとき。

HF Error 07 :

メモリーにアクセスできないとき。

- ➡ コントロールユニットの電源をオフ/オンします。表示が出続ける場合はコントロールユニットのリセットを押してください。

HF Error 68 :

携帯電話機と通信できないとき。

- ➡ コントロールユニットの電源をオフ/オンします。表示が出続ける場合はコントロールユニットのリセットを押してください。

Unknown :

Bluetoothデバイスを検出できません。

- ➡ 場所を移動してから Bluetoothデバイスの検索を行ってください。

取り付け時のご注意

警告



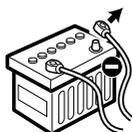
禁止

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



実施

配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。



実施

本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



禁止

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



禁止

本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。



実施

本製品を取り付けの際には、必ず専用付属品をご使用ください。専用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。

また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。





実施

車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。
コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



注意

車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



実施

本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウinker、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



実施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

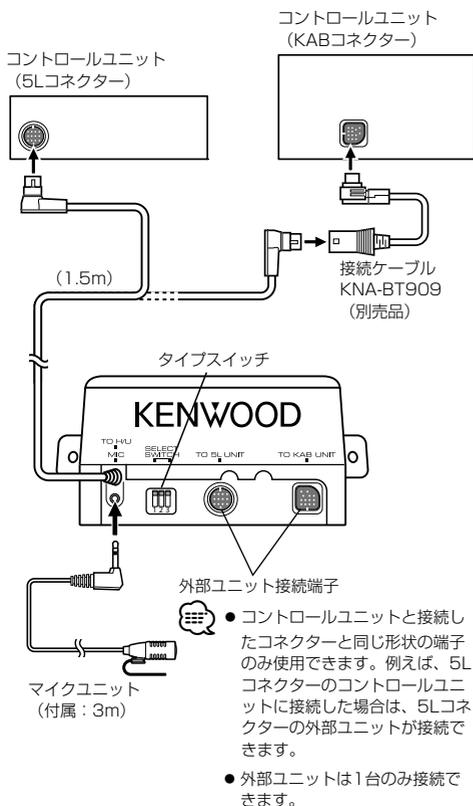
接続



実施

最初にエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

1. エンジンキーを抜きます。バッテリーの⊖端子を外します。
2. タイプスイッチを設定します。
3. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
4. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
5. 電源をオンします。
6. コントロールユニットのリセットボタンを押します。



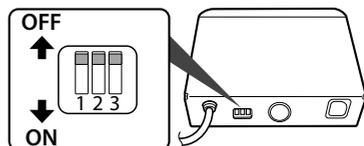
タイプスイッチの設定

接続するコントロールユニットに合わせて、タイプスイッチを設定します。

モデル	スイッチの設定
DPX-U70、I-K55、I-K7、I-K7V、I-K70、I-K70V、I-K77、I-K99、U737	
HDV-909DT、KOS-A300	

(2010年4月現在)

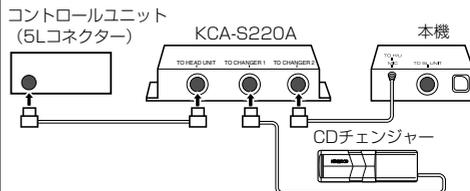
上記以外のモデルについては、www.kenwood.com/cs/ce/bt/を参照してください。



- 1: OFFに設定
OFFの設定のまま使用します。
- 2: 接続するコネクターの設定
コントロールユニットに接続するコネクターの種類を設定します。
OFF: 5Lコネクターを使用します。
ON: KABコネクターを使用します。
- 3: コントロールユニットのタイプ設定
コントロールユニットのタイプに合わせて設定します。
OFF: 通常はOFFのまま使用します。
ON: モデルリストなどで指定された場合に設定します。

KCA-S220Aに接続する場合

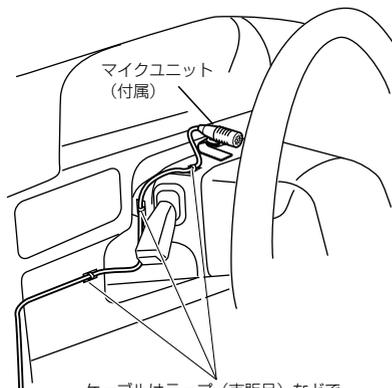
本機は、KCA-S220Aの"TO CHANGER2"端子に接続してください。



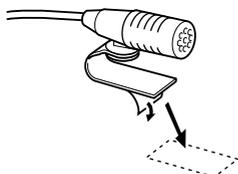
取り付け

マイクユニットの取り付け

1. マイクユニットの取り付け位置を確認します。
2. 取り付け位置の油分など汚れを取り除きます。
3. マイクユニットを貼り付けます。
4. マイクユニットのケーブルを配線します。ケーブルはテープなどで数カ所固定します。



ケーブルはテープ（市販品）などで固定します。



両面テープのはく離紙をはがします。
両面テープで固定します。



マイクを運転者に向くように調整します。



- マイクと携帯電話機との距離を離してください。近いとノイズが入ることがあります。

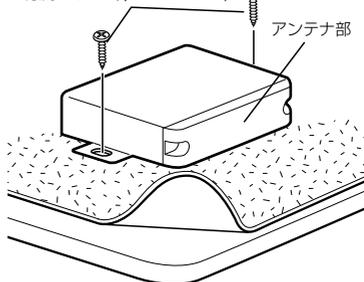
Bluetoothユニットの取り付け



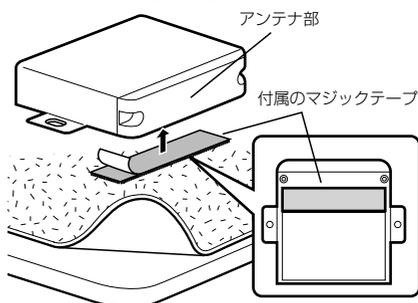
- 携帯電話機などBluetoothデバイスと通信できることを確認して取付位置を決めてください。
- 重要保安部品の近くやダッシュボード、リアトレイには取り付けないでください。

オーディオボードに取り付ける場合

付属のネジ（ $\phi 4 \times 16$ mm）



カーペットに取り付ける場合



- 製造番号の上にはマジックテープを貼らないでください。
- 取り付け場所に若干の段差がある場合は、マジックテープを半分切って2カ所で取り付けます。

保証について

● 保証書

この製品には、保証書を添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

● 保証期間

お買い上げの日より1年です。

修理を依頼されるときは

「Help? 故障かな? と思ったら」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにお問い合わせください。（「ケンウッド全国サービス網」をご参照ください。）

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は...

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は...

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。

（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

● 持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。

（本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。）

- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

● 修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）

- **技術料**：製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。

- **部品代**：修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご遠慮なくお問い合わせください。

ケンウッド 全国サービス網

アフターサービスについてのお申し込みは、購入店かお近くのケンウッドサービスセンターへお申しつけください。

北海道

札幌サービスセンター ☎ 007-0834 札幌市厚別区厚別東5条1-2-29 ☎ (011) 807-3003

東北

仙台サービスセンター ☎ 984-0011 仙台市若林区六丁の目西町8-1 (斎喜センタービル) ☎ (022) 288-3538

関東・信越

さいたまサービスセンター ☎ 331-0812 さいたま市北区宮原町1-202 ☎ (048) 778-8714

千葉サービスセンター ☎ 277-0863 柏市豊四季512-10-67 ☎ (04) 7171-3800

横浜サービスセンター ☎ 226-8525 横浜市緑区白山1-16-2 ☎ (045) 939-6242

新潟サービスセンター ☎ 950-0913 新潟市中央区鏡1-5-23 ☎ (025) 245-2177

大田サービスセンター ☎ 146-0082 東京都大田区池上2-8-10 プラムビル1F
(修理持込専用窓口) 電話でのお問い合わせは、カスタマーサポートセンター(裏面をご覧ください)にて承ります。

中部・甲州

名古屋サービスセンター ☎ 481-0041 北名古屋九之坪鴨田121-1 ☎ (0568) 24-1644

静岡サービスセンター ☎ 420-0816 静岡市葵区沓谷5-61-1 ☎ (054) 262-8700

金沢サービスセンター ☎ 921-8062 金沢市新保本4-65-17 ☎ (076) 269-2935

近畿・四国

大阪サービスセンター ☎ 532-0027 大阪市淀川区田川2-4-28 ☎ (06) 6390-8005

高松サービスセンター ☎ 761-8057 高松市田村町205-1 ☎ (087) 802-6055

中国

広島サービスセンター ☎ 730-0825 広島市中区光南3-9-17 ☎ (082) 241-0023

九州

福岡サービスセンター ☎ 812-0031 福岡市博多区沖浜町11-10 サンイースト福岡1F ☎ (092) 283-6675

鹿児島サービスセンター ☎ 890-0063 鹿児島市鴨池2-15-10 (パレス鴨池1F) ☎ (099) 251-6347

沖縄サービスセンター ☎ 901-2101 浦添市西原4-36-17 ((株)物琉2F) ☎ (098) 874-9010

■ サービスセンターの営業時間のご案内

受付時間 10:00~18:00(土曜、日曜、祝日および当社休日とは休ませていただきます)

(各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。)

仕様一覧

Bluetooth部

規格

:Bluetooth 2.1+EDR 準拠

周波数

:2.402~2.480 GHz

出力

:+4dBm(最大)、0dBm(平均)
パワークラス2

最大通信距離

:10 m

プロファイル

:HFP(Hands Free Profile)
:HSP(Headset Profile)
:OPP(Object Push Profile)
:PBAP(Phonebook Access Profile)
:SYNC(Synchronization Profile)
:A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)
:AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile)

電源部

電源電圧

:1.4 V (10.5~16 V)

消費電流

:200 mA

寸法・質量

寸法(W × H × D)

:95 × 30 × 105 mm

質量(重さ)

:380 g

付属部品

マイクユニット

:1個

取付ネジ(φ4×16 mm)

:2本

マジックテープ

:1個

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。



このシンボルマークはケンウッドにおいて環境に対する影響を軽減した商品であることをお知らせするマークです。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町 2967-3

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

ナビダイヤル 0570-010-114 (一般電話・公衆電話からは、どこからでも市内通話料金でお問い合わせが可能です)
携帯電話、PHS、IP電話からは 045-450-8960

FAX 045-450-2287

住所 〒221-8528 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00

土曜 9:30～12:00、13:00～17:30

(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- 修理などアフターサービスについては、お買い上げの販売店または「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスセンターにご相談ください。
- カスタマーサポートの向上のため、ユーザー登録 (My Kenwood) をお願いしています。弊社ホームページ内で登録ができます。なお、詳細につきましては、利用規約等を事前にお読みください。
<http://jp.my-kenwood.com>